

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	胃がんリスク検査	事業番号	011-189
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	11,520	9,492	10,236	9,086	10,838
	財 源					
	国支出金	0	0	0		0
	府支出金	0	0	0		0
	市債	0	0	0		0
	その他（ ）	0	0	0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
14	一般財源	11,520	9,492	10,236	9,086	10,838
	人件費（b）	820	810	810	810	840
15	年間経費（c）=(a)+(b)	12,340	10,302	11,046	9,896	11,678

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	決算				R6	決算		
16	胃がんリスク検査	R7	予算	10,526	10,526		R7	予算		
		R6	決算	0	0		R6	決算		
	印刷製本費	R7	予算	229	229		R7	予算		
		R6	決算	26	26		R6	決算		
	通信運搬費	R7	予算	33	33		R7	予算		
		R6	決算	22	22		R6	決算		
	手数料	R7	予算	50	50		R7	予算		
		R6	決算	430	430		R6	決算		
	その他委託料	R7	予算	0	0		R7	予算		
		R6	決算				R6	決算		
		R7	予算				R7	予算		
		R6	決算				R6	決算		
		R7	予算				R7	予算		
		R6	決算				R6	決算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和5年度	令和6年度
	①	受診者数	人	1,775	1,651
	②	上記①にかかる年間経費	千円	10,302	9,896
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	5,804	5,994
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和2年度より、40歳～49歳の間に1回から、35歳～49歳の間に1回と対象年齢を拡充、自己負担金を無償化した。令和3年度までは受診者が増加したが、対象となる年齢の間に1回限りということもあり、令和4年度～令和6年度は受診者数が減少した。費用対効果の観点から、新たに対象となる方、また対象で未受診の方への胃がんリスク検査の周知や、がんに関する正しい知識の普及など、積極的な啓発活動が必要である。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	身近な医療機関での検査を可能にすることで、検査を希望する市民の受診環境を整えることができている。 また、全国的に部位別のがん死亡数（2020年）では胃がんが男性で第2位、女性で第5位となっていることから、対象市民の胃がん予防意識を高め、将来的な胃がんの早期発見・早期治療につなげることで、堺市基本計画2025の「健康で長生きできる都市の実現」やさかい健康プランの「個人の行動と健康状態の改善」に寄与したと考える。 今後も、ICT（SNS等）や企業連携等を活用した多種多様な手法で、啓発や受診勧奨を実施し、胃がんリスク検査の周知や正しい知識の普及を行うなど、受診者数の増加に向けて取り組む。
----	--